

腹痛



胃痛

胸やけ

第2類医薬品

赤玉胃腸丸



発売元

株式会社 西川 栄寿堂

奈良県高市郡高取町清水谷 1025番地

第2類医薬品

赤玉胃腸丸

特許第523-15

効 能

胃痛、腹痛、さしこみ(疝痛、癰)、胃散過多、胸やけ。

用法及び用量

15才以上	1回	30粒(1包)
11才以上15才未満	1回	20粒(2/3包)
8才以上11才未満	1回	15粒(1/2包)
5才以上8才未満	1回	10粒(1/3包)
3才以上5才未満	1回	7粒(約1/4包)

1日3回毎食後水又は白湯にて服用する。服用間隔は4時間以上おくこと。

成分及び分量 一日量(90粒)中

オウレン末	0.30g	センブリ末	0.05g
オウバク末	1.70g	ロートエキス	0.06g
ゲンチアナ末	0.50g		

添加物としてサリチル酸、寒梅粉、酸化チタン、タルウ、ヒドロキシプロピルセルロース、白色セラック、赤色102号、黄色5号を含有します。

注 意

- (1) 3才未満の乳幼児には服用させないで下さい。
- (2) 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。
- (3) 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。(母乳に薬剤が移行して乳児の尿が速くなることがあります。)
- (4) 服用に際しては、添付の注意書をよく読んで下さい。
- (5) 小児の手のとどかない所に保管して下さい。
- (6) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (7) 他の容器に入れかえないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (8) 期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

2包入(1包30粒) ¥300

副作用被害救済制度
☎0120-149-931



製造販売所 西川製薬株式会社 奈良県高市郡高取町清水谷

この文書は、本剤を服用になる前に必ず読んで下さい。
又、服用になる間は、いつでも読めるように保管しておいて下さい。



胃腸鎮痛鎮痙薬使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり副作用事故が起こりやすくなります。)

1. 3才未満の乳幼児には服用させないで下さい。
2. 本剤を服用している間は、他の胃腸鎮痛鎮痙薬、ロートエキスを含有する他の胃腸薬、乗物酔い薬とは同時に服用しないで下さい。
3. 服用後、乗り物又は機械類の運転操作をしないで下さい。(目のかすみ、異常なまぶしさなどの症状があらわれることがあります。)
4. 授乳中の人には本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。(母乳に移行して乳児の脈が速くなることがあります。)



相談すること

1. 次の人は、服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 高齢者。
 - (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (5) 排尿困難な人。
 - (6) 心臓病、緑内障の診断を受けた人。

(裏面に続く)

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
精神神経系	頭痛
泌尿器	排尿困難
その他	顔のほてり、異常なまぶしさ

3. 服用後、口のかわき、便秘、目のかすみが見られることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この製品を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

その他の注意 1. 母乳が出にくくなることがあります。

〈用法・用量に関連する注意〉

1. 定められた用法・用量を厳守して下さい。
2. 小児に服用させる場合には保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
3. 3歳以上の幼児に服用させる場合には薬剤がのどにつかえることのないようよく注意して下さい。
4. 服用間隔は4時間以上あけて下さい。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 小児の手のとどかない所に保管して下さい。
- (2) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れかえないで下さい。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- (4) 期限を過ぎたものは服用しないで下さい。

製造販売元 **三星製薬株式会社**

(お問い合わせ先) 奈良県御所市153

☎ 0745-65-2130

N-P